

平成27年度 特別養護老人ホームサンライフ御立(厨房)

事業計画報告書(案)

平成27年度は人材の育成・定着を事業計画に挙げていたが、人材が調わずなかなか上手くいかなかった。また、便秘解消に新たな対策を検討し試験的に取り組んでいたが話し合いの末、平成27年7月に取組みは中止となった。便秘解消については人数に大きな変動は見られなかった。

I 便秘解消

平成27年4月から平成28年3月時点で便秘である方(排便-5日以上が月に1回以上ある方)は以下の通りであり、人数の変動はあまりみられなかった。

H27.4	H27.5	H27.6	H27.7	H27.8	H27.9
53名	53名	47名	49名	54名	53名
H27.10	H27.11	H27.12	H28.1	H28.2	H28.3
54名	55名	55名	58名	59名	59名

平成26年度後半より便秘対策を対象者を限定し試験的に始めた。プルーン摂取と起床時に冷水を飲んで頂く方法を試していたが、便秘解消の方法の効果には体質などにより個人差が大きくみられるものでもあるうえ、起床時の冷水は冷たいために飲まれることを嫌がられる方もおられ、対象者を変えるなどを検討していた。看護師・介護士との話し合いの中で看護師小村先生より「高齢者の便秘はある程度仕方がなく、適度な運動が出来ていない中での効果は得られにくい。様々な方法を試した結果、効果的な方法が見つからなかったが現状のように数日排便がない状態が続いたうえで、下剤の服用にて排便が出来ているなら問題はないと考える」との助言を受け植田相談員とも話し合いを行い、試験的な取り組みは平成27年7月より中止となった。個人でのパウダー状の食物繊維、オリゴ糖の使用は継続し実施した。

II 人員の確保・定着

常に人員不足の状態であった。新規の職員が続かず人員の定着は上手くいかなかった。また、職員の退職が続いたことで業務の引継ぎ等についても上手くいかず、目標にしていた特定の人への負担の軽減はできなかった。勤務時間帯・曜日の偏りについても解消できなかった。

III 人材育成

ベテランと新規職員が組み、人材育成を図ることを目標に挙げていた。職員の退職が続き、人の入れ替わりが激しく業務指導できる人が減少したこと、人不足により丁寧に指導できる環境をつくれなかったことから、結果として人材育成できず個々の仕事の能力アップに繋がらなかった。

IV 栄養ケアマネジメント

介護士、看護師と連携を取りながら入所者様の状態の把握に努めた。認知症の進行や介護状態の変化に伴い食種変更を行うことが増えている。食材の切り方や調理方法もベテラン調理師と話し合い改善を行った。なるべく現状を維持しながら食事を楽しんでもいただき、より健康に生活して頂けるように配慮していきたい。

V 食中毒予防

新しい職員が増えたこともあり、” III 人材育成”と同様に資格・経験のない方に正しい知識を身につけて頂けるようマニュアル見直しを行い、指導した。また引き続き、休憩時間などを利用してミニ研修を行ない、食中毒についての知識を深めるとともに、衛生管理への意識を高め、予防に努めた。資料・マニュアルの配布だけでなく、ポスターの掲示等を行い、職員の目につくようにし、衛生管理の徹底を図った。